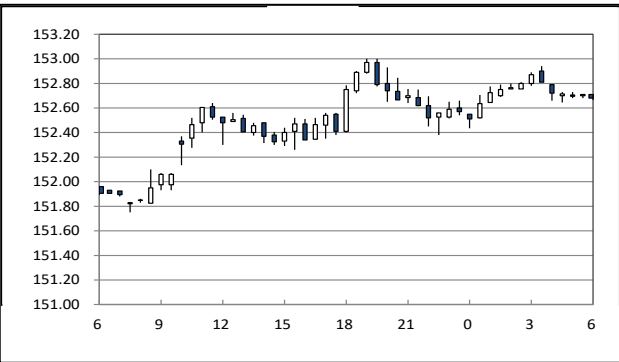


【昨日の市況概要】				公示仲値	152.31
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.07	1.1652	177.28	1.3420	0.6580
SYD-NY High	153.00	1.1660	177.83	1.3437	0.6588
SYD-NY Low	151.75	1.1598	176.93	1.3372	0.6557
NY 5:00 PM	152.68	1.1631	177.59	1.3404	0.6586
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,601.78	▲ 1.20	日本2年債	0.9300%	0.0300%
NASDAQ	23,043.38	255.02	日本10年債	1.6900%	0.0200%
S&P	6,753.72	39.13	米国2年債	3.5833%	0.0166%
日経平均	47,734.99	▲ 215.89	米国5年債	3.7159%	0.0114%
TOPIX	3,235.66	7.75	米国10年債	4.1220%	▲0.0010%
シカゴ日経先物	48,215.00	125.00	独10年債	2.6766%	▲0.0336%
ロンドンFT	9,548.87	65.29	英10年債	4.7115%	▲0.0085%
DAX	24,597.13	211.35	豪10年債	4.3660%	▲0.0300%
ハンセン指数	26,829.46	▲ 128.31	USDJPY 1M Vol	9.69%	0.11%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.54%	0.07%
NY金	4,070.50	66.10	USDJPY 6M Vol	9.65%	0.05%
WTI	62.55	0.82	USDJPY 1M 25RR	▲0.01%	Yen Call Over
CRB指数	302.12	1.05	EURJPY 3M Vol	8.27%	▲0.01%
ドルインデックス	98.92	0.34	EURJPY 6M Vol	8.57%	0.02%

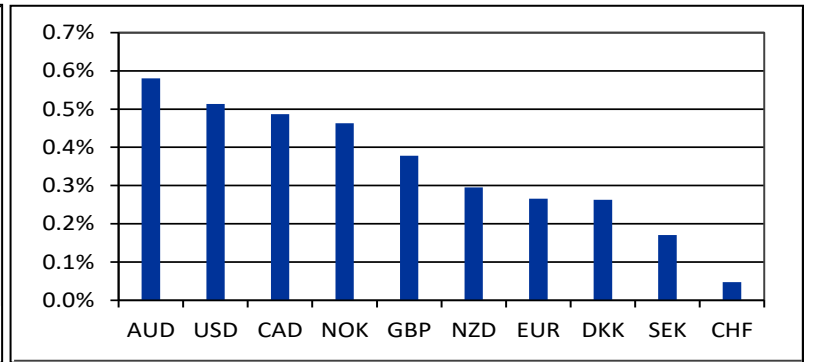
東京	東京時間のドル円は152.07レベルでオープン。高市新総裁の財政・金融政策を見据えた円売り圧力からか、じり高に推移し約8か月ぶりの水準である152.64まで上昇。午後は152円台前半での小動きに終始し、152.47レベルでクローズした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、152.47レベルでオープン。連立政権や次期財務大臣に関する不透明感が残る中、引き続き全体的な円安の流れとなる。瞬間的に153.00まで上昇した後に調整し、結局152.69レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は米金利の上昇と米株高の展開等を背景に底堅く推移。午後は低調な米10年債の入札結果を受け、米金利が上昇すると、152.94まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、152.68レベルでクローズ。一方ユーロドルは米金利の上昇に伴った買い地合いが重しとなり、1.1610付近までじり安で推移。午後は下げ渋り、1.1630付近まで反発し、その後1.1628でクローズ。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event		結果	予想	
10月8日	15:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	8月	-4.3%	-1.0%
【本日の予定】						
Date	Time	Event		予想	前回	
10月9日	21:30	米	パウエルFRB議長 講演	-	-	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	4-Oct	228k	-
	21:35	米	ボウマンFRB副議長 講演	-	-	-
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	8月	-0.2%	-0.2%
	23:00	米	卸売売上高(前月比)	8月	0.5%	1.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.50-153.50	1.1550-1.1700	176.50-178.50

【マーケット・インプレッション】

本日のドル/円は上値の重い展開を予想。高市氏の自民党総裁選勝利後、節目の150円を上抜け昨日は海外時間に153.00を付ける場面もあったが、市場では高市トレードにも一巡感がみられている。財政拡張路線を期待した株高も一服、日銀利上げ期待も先送りとはいえ12月利上げ期待がじりじりと高まっている。日銀利上げを期待した円ロングも概ねアンワインドされたとすれば、政局の不安定感から高市トレードが巻き戻される時間帯が近づいているのではないかと。昨日公表された9月FOMC議事要旨では年内の追加利下げに前向きな姿勢を示しながらもインフレ再燃懸念から慎重な意見も見られている。米政府閉鎖で十分な米経済データが確認されない中、本日はパウエルFRB議長、ボウマンFRB副議長の発言機会があるため、米金融政策に対する両者のコメントにも注意しておきたい。